



陽風園だより

No. 110

令和5年
7月発行
春秋冬

夏

創立百五十周年記念植樹

■ もくじ

- P2 陽風園創立150周年 Since1873
- P4 令和4年度事業報告及び決算状況
- P5 理事長就任・退任のご挨拶
- P6 就任のご挨拶
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに



陽風園創立150周年 Since1873

陽風園は、令和5年（2023年）に創立150周年を迎え、次の50年、100年に向けて更なる発展を期すため、各種記念事業を実施しました。

創立150周年記念誌の作成

記念誌の作成にあたっては、「見やすく、読みやすく、わかりやすいものを」という思いから、横書きとし、文字の書体や紙面構成にも工夫を凝らしました。

園祖小野太三郎翁の物語をイラストで紹介し、各事業の概要や150年のあゆみなどを写真を交えて掲載しています。



創立150周年記念映像の制作

陽風園の過去・現在・未来を記念映像として制作しました。

園祖小野太三郎翁が陽風園を創業してから今日に至るまでの歴史や、現在展開している各種事業、DX推進への取り組み、今後の施設整備計画などを紹介しています。また、職員の体験談として、万陽苑とみずきこども園で実際にあったエピソードを再現しています。



創立150周年記念ホームページの作成

ホームページ上に創立150周年記念の専用コンテンツを開設しました。

各記念事業の完成までの経過や、北國新聞や月刊北國アクタスへの掲載など、創立150周年記念事業推進プロジェクトを発足してから今日まで行ってきた事業の様子を随時発信しています。



創立150周年記念式典 挙行

令和5年5月27日(土)、陽風園管理棟2階仁愛ホールにて創立150周年記念式典を執り行い、馳浩石川県知事、村山卓金沢市長をはじめ、陽風園にゆかりのある多くのご来賓の皆様にご出席をいただきました。

陽風園合唱メンバーによる陽風讃歌から始まり、馳知事、村山市長の祝辞、創立150周年記念映像の上映、記念植樹など、皆様のお力添えのおかげで盛会のうちに終わることができました。



合唱メンバーによる陽風讃歌



馳知事による祝辞



園花である「梅の木(白梅)」の記念植樹



創立150周年記念映像の上映

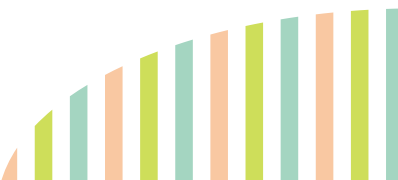


村山市長による祝辞



陽風園は、創立150周年を契機として、さらに飛躍するとともに、質の高い福祉サービスの提供にこれからも邁進してまいりたいと存じます。今後とも、皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

創立150周年記念事業の各種事業、記念誌及び記念映像についてはこちらからご覧ください！



令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期間における事業実績を、次のとおり報告します。

総括的な取り組み

社会福祉事業の目的及び令和4年度事業計画の基本方針に基づき、福祉サービス利用者の尊厳を守りながら自立した生活を営むことができるよう支援を行うとともに、利用者の心身や生活の質が向上し、福祉の増進が図られるよう、園の基本理念である「仁愛の精神」に則った「私たちの信条」のもと、ニーズに即した適切なサービスの提供に努めました。また、新型コロナウイルス感染症等への的確な対応を図るなど、安全・安心な施設の運営に全力を尽くしました。

重点事業の達成状況

(1) 福祉サービスの充実

- ①新型コロナウイルス感染防止対策の強化
 - ア. 新型コロナウイルス感染症対策本部による迅速な対応 達成
 - イ. 定期的なPCR検査又は抗原検査の実施 達成
 - ウ. 経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ）の投与 達成
 - エ. 感染防止対策用備品の整備及び備蓄 達成
 - オ. 施設内における消毒・換気機能等の強化 達成
- ②BCP（事業継続計画）策定検討プロジェクトの設置 達成
- ③公用車運転時のアルコールチェックの実施 達成
- ④公用車の計画的な更新 達成
- ⑤生活リハビリの充実（養護2施設） 達成
- ⑥快適な排泄ケアの充実（特養3施設） 達成
- ⑦リハビリテーション機器の活用（特養3施設） 達成
- ⑧看取り介護体制の強化（特養3施設） 達成
- ⑨循環型セーフティネット機能の強化（三陽ホーム） 達成
- ⑩利用者の特性に配慮した支援体制の強化（ハビリポート若葉・若竹） 達成
- ⑪インターネット販売の拡充（あけぼの作業所） 達成
- ⑫異年齢間の交流保育の推進（みずきこども園） 達成
- ⑬福祉用具等の積極的な活用による介護負担の軽減（入居施設） 達成
- ⑭口腔ケア等の充実による口腔機能の強化（入居施設） 達成

(2) 生活環境の向上

- ①将来展望に立った施設の整備
 - ア. 三陽ホームの移転改築事業の推進 延期

- イ. あけぼの作業所の移転改築事業の推進 達成
- ウ. みずきこども園分園整備事業の推進 達成
- ②第二万陽苑のホール改修 達成
- ③第三万陽苑の静養室等の改修 達成
- ④ハビリポート若葉・若竹の吸収式冷温水機の入替 達成
- ⑤介護用高機能ベッドの導入（入居施設） 達成
- ⑥調整機能付き車いすの導入（入居施設） 達成
- (3) 社会との絆の構築
 - ①地域交流の促進 中止
 - ②施設機能の地域への開放 中止
 - ③地域見守り活動（内川スクールサポート隊）の実施（第三万陽苑、ハビリポート若葉・若竹） 達成
 - ④地域巡回防犯活動の実施（陽風園デイ、木越デイ） 達成
 - ⑤エコキャップ運動への参加 達成
- (4) 事業基盤の強化
 - ①改築整備資金の積立 達成
 - ②償還資金の積立 達成
 - ③陽風園キャリアパス研修の実施 達成
 - ④専門職の資格取得の支援 達成
- (5) 諸課題への対応
 - ①創立150周年記念事業の推進
 - ア. 創立150周年記念誌の作成 達成
 - イ. 創立150周年記念映像の制作 達成
 - ウ. 創立150周年記念ホームページの作成 達成
 - ②DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ア. DX推進委員会の設置 達成
 - イ. 移乗用介護機器の導入（第三万陽苑） 達成
 - ③プロジェクト・ワーキングの設置
 - ア. 陽風園経営基本計画検討プロジェクト 達成
 - イ. 創立150周年記念事業推進プロジェクト 達成
 - ウ. 調理業務検討プロジェクト 達成
 - エ. 人材確保・育成プログラム検討プロジェクト 達成
 - ④その他
 - ア. BCP(事業継続計画)策定検討プロジェクトの設置 達成
 - イ. 入所体制標準化ワーキング 達成
 - ウ. 報酬検討ワーキング 達成
 - エ. 介護技術創造ワーキング 達成

決算報告(概略)

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目	金額
当期資金収支差額合計	66,271,378
前期末支払資金残高	1,751,509,464
当期末支払資金残高	1,817,780,842

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目	金額
当期活動増減差額	△103,769,725
前期繰越活動増減差額	5,351,746,702
当期末繰越活動増減差額	5,247,976,977
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	146,000,000
その他の積立金積立額	65,000,000
次期繰越活動増減差額	5,328,976,977

貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,015,707,935	流動負債	547,984,091
固定資産	10,151,200,438	固定負債	1,414,838,385
基本財産	8,597,495,661	負債合計	1,962,822,476
土地	1,496,662,278	基本金	1,550,912,684
建物	7,100,833,383	国庫補助金等特別積立金	2,245,952,236
その他の固定資産	1,553,704,777	その他の積立金	1,078,244,000
		次期繰越活動増減差額	5,328,976,977
		純資産合計	10,204,085,897
資産合計	12,166,908,373	負債及び純資産合計	12,166,908,373

※これらの詳細については、法人HPの情報開示にてご覧いただけます。 <https://www.yofuen.com/disclosure/>

理事長就任のご挨拶



「次なる時代に向けて」

理事長 桶川 秀志

6月26日の理事会におきまして、理事長に選任されました桶川と申します。重責に身の引き締まる思いでございます。もとより微力でございますが、誠心

誠意務めさせていただく所存でございます。皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

今年、陽風園は創立150周年という節目の年を迎えました。明治6年に園祖小野太三郎翁が、救養活動を開始したのがはじまりであります。以来、時代の変化とともに常に地域社会の要請に応え、幾多の変遷を経ながら社会福祉事業の歩みを続けてまいりました。そして、園祖の「仁愛の精神」は今日まで連綿と職員に受け継がれています。

こうした陽風園の歴史・伝統そして経営理念を大切に、長年に亘って培ったノウハウと経営基盤を生かし、次なる新しい時代に向けて邁進する決意であります。

本園の施設改築の第二期事業として、既に予定している「あけぼの作業所」と「三陽ホーム」の改築事業を着実に進めるなど、利用者の皆様が快適な時を過ごせるよう施設環境の整備に努めてまいりたいと考えています。

また、役職員一丸となって、利用者やご家族の皆様に喜んで頂ける良質な福祉サービスの提供を通じ、地域社会の発展に貢献してまいります。

何卒変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任のご挨拶



「ありがとうございました」

前理事長 松倉 剛弘

丸口前理事長の急逝に伴い、理事長に就任しましたが、あっという間の3か月間であります。しかし、1年で最も密度の濃いこの時期に理事長の職を務めさ

せていただいたことは、私にとりまして、本当に貴重な経験であり、園のご利用者や役職員の皆さんに心から感謝を申し上げます。

思えば、退職辞令の交付に始まり、新年度の辞令交付、新採職員研修、物故者追悼法要、創立150周年記念式典、会計監査、理事会、評議員会等々いずれも印象深いものでありましたが、特に創立150周年記念式典にあっては、陽風園の長い歴史の中でもとりわけ大きな節目の一つであり、一生忘れられない出来事となりました。無事に終えることができ、内心ほっとして

います。ご臨席いただいたご来賓の方々やご苦勞をおかけした職員の皆さんには、改めて深く感謝を申し上げます。

惜しむらくは、コロナの影響で、せっかくの式典にご利用者やご家族をお招きできなかったことであり、大変申し訳なく思っています。

結局この3年間、コロナの影響でほとんどの行事が開催できませんでしたが、5月8日からはコロナの法的位置づけが変わりましたので、これを機にご家族との面会や行動制限を見直しました。そして、園の行事についても、感染対策を継続しながら、開催できる方法を考えています。コロナはまだ終わってはいませんが、園を利用する皆さんが、安全で安心して少しでも幸せを感じられるような生活を送ることを心から願うばかりです。短い間でしたが、お世話になり本当にありがとうございました。



専務理事 兼 事務局長
多田 正人

この4月より、専務理事兼事務局長に就任しました。今後ともよろしくお願いたします。

本年、陽風園は、創立150周年を迎えました。しかしながら、150年はあくまでも通過点であり、今後を見据えて職員一人ひとりが心を合わせ、課題や目標を共有し、陽風園の確かな足跡を刻み続けていかなければなりません。そのためにも、今年度から始まった陽風園経営基本計画2023に基づき、ご利用者の皆様が安全安心で、笑顔で過ごせるよう、そしてご家族や地域の皆様からも信頼され、期待される陽風園を目指し、着実な歩みを続けてまいります。

昨今、社会経済情勢の変化等により、社会福祉法人そして社会福祉施設を取り巻く環境が厳しくなっています。しかしながら、幸いにも、陽風園には、スキルが高いだけでなく、情熱があり志も高い人材が育っており、日頃から質の高いサービスの提供を実践しています。引き続き、今日の時代と社会に即した要請に応えるべく明日に向けて職員と共に努力してまいりますので、これまで陽風園を支えていただきました関係者の皆様方の変わらぬご支援をお願いいたします。



常務理事 兼 事務局長次長
中森 隆則

「明るく 楽しく 元気よく
そして前向きに」

この4月から常務理事を務めさせていただきます。これからも皆様方のご協力のもと園の発展に尽くしてまいります。

コロナ禍では施設内に感染症を持ち込まないような対策を積極的に行ってきました。そのため、利用者の皆さんやご家族の皆さんには長い間の自粛や制限の中、ご心配やご迷惑をおかけしました。これからは、感染対策を続けながらもコロナ前の日常を少しずつ取り戻していきたいと思っております。

一方、国際情勢の不安定化による物価高騰やコロナ禍の影響もあり、園を取り巻く事業環境は厳しいものがありますが、収益力を上げながら環境の改善に向けて努力を重ね、本園の第二期改築整備事業を軌道に乗せていきたいと考えています。

園には長い歴史の中で園祖の遺志である仁愛の精神が脈々と受け継がれていますが、150周年を機にさらにこれからも継承し、新たな時代の一步として、明るく、楽しく、元気よく、そして前向きに次の時代に繋げていきたいと思っております。



向陽苑崎浦 施設長
木島 浩

この4月から、向陽苑崎浦の施設長に就任いたしました。3月まで市内の病院で勤務しており、福祉施設での勤務は初めてですが、5月の陽風園創立150周年記念

事業に参加し、先人の方々の数々の業績を改めて知ることにより、養護老人ホームの施設長という職責の重さを今一度自覚させて頂きました。微力ではありますが、陽風園の発展と利用者様の日々の生活のため尽力して参りますので、何卒、皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

今年度の大きな課題は、新型コロナの影響から日常生活への復帰かと思っております。国は新型コロナをインフルエンザと同じ5類感染症に分類しましたが、依然として重症化リスクの高い高齢者が利用する病院や高齢者施設ではマスクの着用を推奨し、流行期には三密を回避し、人と人との距離を確保するようにとの注意喚起を行っています。利用者様にはコロナ前の生活に戻って頂きたい、でも感染対策は大事、相反する状況の中、どのように利用者様の生活を普段通りに戻していくか、職員一同苦慮しております。

利用者様やご家族の皆様には、今しばらくご不便をおかけするかと思っておりますが、どうかご理解とご協力を下さいますようお願い申し上げます。



向陽苑木曳野 施設長
中川 里美

この春、4月より向陽苑木曳野の施設長を務めさせて頂き、瞬く間に4か月が過ぎようとしています。コロナウイルス感染症のため何もできず不自由な生活

であった長い時間、外出も地域の皆さまとの交流も控え行事等も縮小して行うということが続きました。5月にコロナウイルス感染症に対する法律上の位置づけが変わり社会情勢も変化してきています。アフターコロナの中で少しずつ以前のような生活を取り戻していかねばならないと考えています。沢山の我慢をお願いしてきた利用者の方々に笑顔いっぱい生活していただけるよう取り組んで参ります。初めての養護老人ホーム、施設長という重責、戸惑う事ばかりの毎日ですが、木曳野の皆さまに助けられながら一歩ずつ進んでいるのではないかと感じています。

また今年度は、陽風園が150周年を迎え、新たな経営基本計画2023がスタートしました。計画の達成に向け、向陽苑木曳野が、地域に愛されるより良い施設となるよう、利用者の方々が健康長寿であるよう職員一同努力して参りますので皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



第二万陽苑 施設長
吉田 公史

4月から第二万陽苑の施設長を務めさせていただいております。創立150年という長い歴史を持つ陽風園が運営する特別養護老人ホームの施設長という重責

を任され身が引き締まる思いであります。

第二万陽苑は、眺望絶景の医王連峰や眼下映える犀川が展望できる高台に位置した環境で38年目を迎えます。家庭的な雰囲気の中で利用者の方々が、余暇活動による生きがいづくりや他者との交流を通じて、メリハリのある生活を送って頂くなど、生活の質の向上を図っています。

また、地域福祉の拠点として、短期入所や、金沢市からの委託による県営住宅の高齢者世話付き住宅に第二万陽苑から生活援助員を派遣するライフサポートアドバイザー（LSA）のサービスも行っています。

地域交流として、つつじが丘町会とゴミ拾いをスポーツとして楽しみながら美化活動を行う「スポGOMI inつつじが丘」を昨年に引き続き、今年も夏に開催を予定しております。

今後も、利用者の皆様が健康で笑顔があふれる生活が送れますよう、職員一同努めて参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



第三万陽苑 施設長
山本 尚也

この度、第三万陽苑の施設長職に就任することになりました。任に値する者ではございませんが、これまでの経験を活かし施設づくりに邁進する所存でございます。

介護保険制度が施行されてから23年、その間、施設の役割や福祉の形が変化しました。超高齢化、少子化問題による担い手不足、ニーズの多様化など課題は多く、それらに対応するにはどうすべきか。理想の福祉、介護がどこまで具現化し持続できるのか真剣に考える時期とと思っています。福祉で大切なことは、人が人を支えること。施設においては、介護ロボットや見守りシステムの導入などが推奨される時代が訪れていますが、人同士がコミュニティの中で関わり合える重要性を出来る限り求め続けていきたいと思っています。

今年、陽風園創立150周年を迎えました。園祖小野太三郎が今、何を思うのか。かつて生活困窮者に対してなんとか救いたいという思いをもって人が支え、ここまでに至りました。時代は変わっても、支え合う慈善の心は生き続けているものと信じます。苦を分かち合い、労を共にし、喜びを共感できる施設となるように尽力致しますので、皆様のお力添え賜りますようお願い申し上げます。



ハビリポート若葉・若竹 施設長
細井 一夫

4月からハビリポート若葉・若竹の施設長を務めております細井一夫です。金沢市役所、金沢市社会福祉協議会を経て、創立150周年の記念の年にご縁を

いただき、陽風園の一員となりました。

私は、特別養護老人ホームが措置制度であった時期から介護保険制度の立ち上げの時期を通じ高齢者福祉に、その後は、民生委員児童委員活動等地域の福祉づくりに携わってきました。障害のある方への支援は初めてですが、利用者様・ご家族様の思いに寄り添い、笑顔あふれる施設づくりを目指したいと思っています。

さて、ハビリポート若葉・若竹では長く続いたコロナ禍における感染症対策を緩和し、作業所等への通所、外出面会に続き、8月からは一時帰省についても再開することを目指しています。これにより利用者様の日常が取り戻され、少しでもストレスが緩和されればと思っています。

コロナ禍での経験を活かし、より安全・安心な施設づくりの再出発の年となりますよう、引き続きご家族様はじめ、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



事務局次長 兼 総務課長
村井 光治

事務局次長兼総務課長の村井です。

園では、今年度、新たに「陽風園経営基本計画2023」が策定され、今後5年間の経営ビジョンが示されました。福祉

を取り巻く社会環境の変化や先行きが不透明な社会情勢となっておりますが、総務課は、その基本計画に連動し、法人の機能維持や施設間の調整など、さまざまな課題に迅速かつ適切に対応していくことが求められています。

また、陽風園フェスタなどの地域交流は、コロナの影響により自粛を余儀なくされてきました。園は地域の一員です。以前のような日常生活となるよう、地域との交流についても再開し、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

陽風園は今年、創立150周年を迎えました。その長い歴史は、関係者の皆様の支えと信頼関係によるものだと思っています。これからも園の理念である「仁愛の精神」を大切に、皆様に助けていただきながら、精一杯頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

感謝録 4月～6月

◆ ボランティア

- ほたるの会 代表 藤原 光恵
- ひがしMサロン 林田 孝一
- 北陸学院大学短期大学部 花の日訪問
- 北陸学院中学校 花の日訪問

◆ 寄付物品の部

- 北 吉晴 ● 副田 英弘 ● 山口 智子
- 小村 弘子 ● 小路 晃男 ● 中山ひろみ
- ツボ電気工事(株) 代表取締役社長 坪田 大輝
- 創立150周年記念式典 祝品11件

◆ 寄付金の部

- 田中外世美 ● 赤尾むつみ
- その他匿名9名
- シオタニ(株) 代表取締役社長 塩谷真一郎
- 創立150周年記念式典 祝儀43件

ご厚意ありがとうございました。

◎ 施設開放〈本園研修室等〉

- 三口新町東町会
- 三口新町東町会Mサロン

◎ 実習・体験

- 介護実習Ⅱ (専門学校アリス学園)
(万陽2名、第二2名)
- 看護学生実習 (第1クール 金沢医療センター)
(第三8名)
- 看護学生実習 (第2クール 金沢医療センター)
(第三8名)
- 在宅看護論実習(金沢医療センター附属金沢看護学校)
(プラザ21名)
- 老年生活援助実習(金沢医療センター附属金沢看護学校)
(プラザ8名)
- 介護実務者研修 (ハビリ1名)
- 職場実習 (いしかわ特別支援学校) (あけぼの1名)

◎ 社会貢献活動

- 崎浦クリーン作戦 (本園)
- 南小立野小学校ふれ愛りサイクル (本園)
- 内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)

volunteer message board
ボランティア
掲示板



北陸学院大学短期大学部

花の日訪問

6月6日 第二万陽苑

